

留学報告書



留学先国	Virtual Study Abroad プログラム (オンライン留学)
留学先高等教育機関名	フットヒルカレッジ
留学期間	2021年9月～2021年12月
留学を開始した時の学年	4年生

留学費用 (概算)	
授業料 (プログラム費用)	12万円
保険料	円
宿舍費 (1か月あたり)	円
食費 (1か月あたり)	円
渡航旅費	円

学習・研究活動についてのレポート (履修した科目ごとに記入してください)

履修した授業科目名

RACE & ETHNIC RELATIONS

授業内容や試験、授業を受けた感想について

授業内容

主にアメリカでの人種差別や民族間の抗争に関する歴史を学びました。

授業への感想

日本史を主に高校まで学んできた私には全てが新鮮なものでアメリカでの人種差別の事実を最初は受け入れることがあまりできませんでした。しかし、学ぶにつれて未来の人種差別問題へ何をすべきかと

考えられるようになりました。

留学体験記

<p>留学しようと決めた理由や、この留学先を選んだ理由</p>	<p>もともとは大学3年の時にスウェーデンのルンド大学へ留学する予定でした。しかしコロナによるスウェーデンへの留学が困難になったため日本でのオンライン留学を決意しました。</p> <p>また、オンラインでの留学先を選択するにあたっては希望していた北欧圏の大学がオンライン留学を提供していませんでした。本来、日本とはかけ離れた場所にあるレベルの高い大学に留学したい思いがあったため日本から離れた場所にあるアメリカのフットヒルカレッジを選択しました。</p>
<p>留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備</p>	<p>オンライン留学が12月から1か月ほどでしたので9月中旬から準備を始めました。具体的には、明治大学での事務的な手続き（志望理由書や成績証明書の提出など）がありました。</p> <p>準備期間での後悔としては留学先のHPにてオンライン留学用のシラバスを事前に熟読するべきであったと思いました。その理由にはオンライン留学では日本のように手厚いサポートが必然ではなく自身でやることが多いと思うからです。また、オンライン留学生と一般の留学生が見るシラバスは異なる場合もありますので注意してください。ほかにも、オンライン留学では留学先の事務の方と常に電話やズームで相談できないため自身での準備が本用に大切であると思います。</p>
<p>留学中に役立った書籍、ウェブサイト、アプリ等</p>	<p>オンライン留学ではKindleによる電子書籍が一番役に立ちました。私の留学先の授業ではビデオカメラを通じたディスカッションがなく書籍の熟読から課題をこなしていました。そのため、日々読むテキストが多いため電子書籍によるコンパクトさが非常に助かりました。Kindleを利用していた端末はパソコン・アイパッド・スマートフォンです。Kindleのアカウントを連携すれば電車やカフェでも課題文書を読むことができます。</p> <p>また、オンライン授業での必須テキストは必ず留学先のオンラインブックセンターにて購入することを忘れないようにしてください。その理由にはオンライン授業ではテキストと授業情報が連携する必要がある可能性が高いからです。私は一度Amazonにて電子版を購入しましたが授業アカウントと連携できず再度購入する失敗を経験しました。</p>
<p>大学・学生の雰囲気（職場や同僚の雰囲気）</p>	<p>私のオンライン留学では他の生徒とは授業のチャットルームでのみの交流のためクラスメイトとの和気あいあいな会話は一度もありませんでした。また、授業講師ともチャットでのみの会話及び授業関連のディスカッションであったため実際の会話を通じた親密さは得られませんでした。そのため、留学期間は日々自宅のデスクとパソコンに目を向けるが多かったです。このような状</p>

	<p>況は最初は嫌な感情が芽生えます。しかし、他の留学生よりも格安で授業を経験できるメリットもあります。そのため、オンライン留学をご希望の方は自身が後悔しない選択をするようにすべきかと思います。</p>
<p>留学先における交友関係</p>	<p>オンライン留学では主にチャットルームでの生徒間での交流や講師との授業に関する相談ができました。また、ズームなどでの相談ができないため多少寂しさを感じました。そのため、オンライン授業を選ぶ際にはビデオ通話の有無など事前に確認することが良いと思います。もしくは、留学先によってはチャットのみの場合もあるのでご注意ください。ただ、チャットのみの場合でも授業内容に関する議論では皆積極的にコメントをしていました。そのため、チャットのみではありますが他者の意見について深く知れる良い機会にはなれたと思います。</p>
<p>留学中に困ったこと、つらかったこと、大変だったこと</p>	<p>膨大な量の課題をこなすことが本当に大変であり苦痛でした。また、オンライン留学でもあったため毎日ただパソコンに目を向ける日々が続く嫌気がさす瞬間も多々ありました。そして、今では笑えますがオンライン留学開始2日目にて本気で留学を辞退したいと思うことがありました。その際に、明治大学の事務の方から諦めずもう一回本気でやってみると背中を押されました。すると1週間後にはなんとか課題についていけるメンタルと身体になっていました。これにはただひたすら課題をこなすだけであったため不思議な感覚でありました。しかし、このような経験からどんなに困難と思う環境でも人間は慣れ柔軟に対応できるのかもしれないと留学を通じ学びました。</p>
<p>留学先における学習、課題や試験</p>	<p>課題に関して オンライン留学（期間・約40日）の中で、週に2回ディスカッション課題（チャットを通じて意見を述べ他者の意見について批判するなど）・指定された範囲のテキスト予習とテキスト範囲の端的な要約文提出を各々2回・指定されたテキスト範囲の理解度チェックのための一問一答形式の課題を2回を1週間の中での基本的な課題内容です。他に講師からのオリジナルな課題が出される時もありますのでご注意ください。また、理解度チェックで一問一答では問題を正解することでポイントが得られます。そのポイントの総得点がある一定以上まで課題期限までに得られない場合にはその課題は不可になります。そして、2週間に一度中間課題による2000文字ほどのレポートや期末課題では5つほどのレポート（総字数10000字ほど）があります。そのため、通常時の課題数が多いため期末課題に向けての準備も並行しておくことが望ましいです。</p>
<p>留学を志す人へメッセージやアドバイス</p>	<p>私の留学経験からの感想は「今の環境で何ができるかが大切だ」ということです。2年かけて準備した北欧圏留学が困難になった中で私はその中で何かできないかとばかり考えていました。その際に、明治大学の国際連携事務の方々からオンライン留学を勧めいただき留学を決意しました。本音を言うと本当に行きたかった大学ではありません。ただ、私が学生の期間で留学をした事実は生まれました。つまり、どのような環境であろうと諦めず腐らず今できることを考えることが大切です。このような考えの根幹には物事への柔軟性が存在すると思います。この柔軟性を留学及び留学準備の期間で学び得ま</p>

した。大人になるにつれて自分の望む理想や道がさえぎられてしまう時が学生時代よりも増えるのではないかと考えてます。そのような環境でも腐らずに他の道・手段・可能性はないかと模索することが大事です。私はこのような考えを実行に移せる柔軟性を留学を通じて得ました。

そして、最後に明治大学では留学に不安な学生を支援する国際連携事務室があります。困った際にはそちらに伺うことがオンライン留学では一番いいです。